

# 和光市都市再生整備計画事業評価委員会（越後山地区）

## 議事概要

【日 時】 平成 23 年 11 月 17 日（木）

【場 所】 和光市役所 503 会議室

【出 席】 評価委員 佐藤委員、浪間委員、石塚委員

傍聴人 5 名

和光市（事務局） 建設部都市整備課 尾形、木村、深沢、中川

越後山土地区画整理組合 湯浅、山本（業務委託者 ㈱UR リンケージ 田仲、小林）

### 次第

#### 1 開 会

#### 2 議 事

（1）都市再生整備計画事業における事後評価の概要について

（2）越後山地区のまちづくりについて

（3）事後評価の流れと審議事項について

#### （4）審議

1）事後評価手続き等について

2）今後のまちづくり方策について

#### 3 今後のスケジュールについて

議事記録

1 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局による議事進行。</li> <li>・本日の評価委員会の流れについて説明。</li> </ul>
都市整備課	<p>【挨拶】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は評価委員会にご出席いただきありがとうございます。また、日頃より市政にご協力いただきありがとうございます。</li> <li>・和光市では、現在4地区で組合による土地区画整理事業を施行中である。これらの事業が完了すれば、道路や公園等が整備された健全で良好な市街地整備が図られる。</li> <li>・そのうちの一つである越後山土地区画整理事業は、事業区域が14.8ha、地権者が114名、総事業費が47億5千万円、施行期間を平成17年度から28年度となっており、現在事業を進めている。</li> <li>・その中で、平成19年度から23年度の5年間、旧まちづくり交付金を活用して整備を行っており、その結果に対し事後評価シート原案を作成したので、皆さんにご意見をいただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料の確認。</li> </ul>
2 議事	
(1) 都市再生整備計画事業における事後評価の概要について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(1) 都市再生整備計画事業における事後評価の概要について」を説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑なし。</li> </ul>
(2) 越後山地区のまちづくりについて	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(2) 越後山地区のまちづくりについて」を説明。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑なし</li> </ul>
(3) 事後評価の流れと審議事項について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(3) 事後評価の流れと審議事項について」を説明。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑なし。</li> </ul>
(4) 審議	
1) 事後評価手続き等について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1.実施過程の評価」について説明。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「越後山・緑まちづくり推進連絡協議会(以降「EM会」という。)」等の既存の組織は、都市再生整備計画事業が終わった後、それぞれの自治会でやっていくのか。</li> </ul>

事務局	・ 今後は、越後山自治会と緑自治会そして越後山土地区画整理組合の3者が協力しながら発展させていく。
委員	・ 是非、自治会連合会とも一緒に発展させていきたいと思う。
事務局	・ 「2.成果の達成度の確認及び効果発現要因の整理」について説明。
委員	・ 地区内のイベントや活動に対し、市から支援をしているのか。
事務局	・ クリーンパトロールや夏祭りは地域住民が主体となって行っており、市から直接的な援助はしていない。
委員	・ 都市再生整備計画事業が完了した後は、住民が自主的に行うのみで市は協力しないのか。
事務局	・ 援助は出来ないが、これまでやってきた支援などはしていきたいと考えている。
委員	・ 指標3（その他の数値指標2）について、満足度調査を実施したとのことだが、地区の住民全てを調査対象としたのか。また、回収率はどれくらいだったのか。
事務局	・ 地区及び地区周辺にお住まいの全住戸を対象とした。回収率は40%程度であった。
事務局	・ 「3.事後評価シート原案の公表」について説明。
委員	・ 質疑なし。
委員	・ 皆さんの意見をまとめると、イベント等については今後も継続的に実施していくことで、市からも引き続き支援するということでもめたい。 ・ では、これで越後山地区の事後評価の手続きが適切に進められたということでしょうか。
委員	・ 事後評価の手続きが適切に行われたことを確認した。
2) 今後のまちづくり方策について	
事務局	・ 「今後のまちづくり方策」について説明
委員	・ 今後も、クリーンパトロールや防災訓練を定期的に行っていきたいとのことだが、もともと地域にある自主防災組織等との協力体制はとられているか。あるいは、今後協力していく予定はあるか。
事務局	・ 地域には自主防災組織がないため、実質これが自主防災組織と言える。 ・ 東日本大震災後に行った防災訓練は、もともと越後山地区で行っていた防災訓練に緑自治会が新たに参加したものであり、「まちの管理運営検討委員会が主催した初めての合同の防災訓練であった。
委員	・ 例えば、日本赤十字社支部等の地域組織との連携もあるといいと思うので、検討いただければと思う。

委員	・住民活動の場がないとのことだが、具体的な施設の計画はあるのか。
都市整備課	・現在地区内に公園を整備中であり、平成 25 年度に完成する見込みである。完成後、夏祭り等の会場をそちらに移す予定となっている。
委員	・集会所のような施設についてはどうか。
都市整備課	・越後山土地区画整理組合が公園とは別に空地を確保しており、そこに集会所の建設計画があると聞いている。
委員	・まちづくり方策において歩道がないなどの交通安全上の課題が挙がっている。昨今は自転車事故が増えており、和光市内でも事故がおきやすい道路があったかと思うので、そうした課題を意識して道路整備等のハード整備をするということか。
都市整備課	・道路整備でなく、土地区画整理事業の中で問題のある道路の改善を計っていく方向である。
委員	・新旧住民のコミュニティ形成はとても重要である。まちづくり方策にもコミュニティ形成を促進する場づくりとあるが、これは EM 会が主体となって進めていくというイメージでよいか。
事務局	・基本的には、EM 会と各自治会が協働して行っていくイメージである。
委員	・現在自治会連合では 98 団体が加盟しているが、自治会と認められる 100 人以上の組織は減少しており、自治会が活発に活動していくことが難しくなっている。 ・越後山自治会も緑自治会も大きな組織ではないので、土地区画整理事業を契機として、相互連携を図っていければよいと思う。
委員	・今後のまちづくり方策は、越後山地区だけでなく市全域の方策なのか。
都市整備課	・越後山地区のまちづくり方策であるが、市全域を見据えて検討している。
委員	・「まちの管理運営検討委員会」と「EM 会」は同じ組織なのか。
事務局	・経緯として、「まちの管理運営検討委員会」が発展し「EM 会」となった。事後評価上は、その時点の組織名称を用いるように修正する。
委員	・では、これで越後山地区の今後のまちづくり方策が妥当であるとしてよいか。
委員	・越後山地区の今後のまちづくり方策が妥当であることを確認した。
委員	・では、事務局は委員から出た意見についてそれぞれ検討いただきたい。
3 今後のスケジュールについて	
事務局	・今後のスケジュールを説明。
まとめ	
委員	・これをもって、本日の審議は完了とし、和光市都市再生整備計画評価委

	員会を閉会する。 ・ありがとうございました。
事務局	・本日は、長い時間ありがとうございました。